

問題 1

【出題意図】

代理制度の基本的理解および、無権代理と表見代理制度についての基本的理解を問うものである。

問題 2

【出題意図】

役務提供契約の一つである（準）委任契約について、受託者が事務処理について負う義務のあり方についての基本的な知識を問うとともに、民法 415 条に基づく債務不履行責任の理解を問うものである。

問題 3

【出題意図】

法定相続制度における 891 条の相続欠格と 892 条から 895 条の廃除を説明させることにより、推定相続人の地位に関する基本的な理解を有しているかをみることをねらいとする。

問題 4

【出題意図】

新株発行等の不存在の確認の訴えにおける「株式会社の成立後における株式の発行」が不存在である事由を問うものである。この訴えの制度趣旨から、不存在事由を論じることを求めるものである。

問題 5

【出題意図】

本問は、弁論準備手続（民事訴訟法 168 条以下）について正確に理解しているかどうかを、準備的口頭弁論（同法 164 条以下）と比較する形で問うものである。弁論準備手続は、口頭弁論ではないので、公開法廷で行う必要がない反面、なしうる訴訟行為には一定の制限がある。そのため、裁判所が事件を弁論準備手続に付するにあたっては、当事者の意見を聴く必要がある。このような種々の相違点を、適切に条文を引用しつつ説明することが望まれる。